



連載 第六一回

自分らしく暮らす 認知症と私

辰川 和美さん
京都府出身。広島大学教育学部心理学科卒。大学では学習や記憶のメカニズム・感覚とその認識のシステムなどを学ぶ。その後、医療施設の経営やデイサービス・特別養護老人ホームなど介護事業を運営。認知症の人の生活しづらさや、家族の不安・困惑に対する支援を続け、ライフワークとして取り組んでいる。

10月号でご案内した認知症啓発活動の「オレンジデー」は、予想を超えた大勢のお客さまをお迎えして開催できました。この場をお借りして御礼申し上げます。会場では読者の皆さまが誌面を片手に、「いつも楽しみに読んでいます」「会えてうれしい」などと声を掛けられ、うれ



い出会いもありました。認知症の基礎知識を学び、家族の気持ちや支援の方法などについて熱心に耳を傾けられました。

今後も毎月第3水曜14時からアポロデひかり(福山市草戸町3-6-1)で、認知症があってもなくても楽しく集う「オレンジカフェひかり」として定期的に催します。おいしいお菓子とコーヒーを用意してお待ちしています。介護や認知症のことで相談のある方も気軽ににお越しください。

◆通デイをさぼった結果

さて、今月は久しぶりに家人の様子をお伝えします。毎日デイサービスに行き規則正しい生活ができると喜んだのもつかの間、さぼる日が増えてきました。そんな日は、朝から晩までずっとテレビの前。食事やト

認知症の人が家庭で過ごす難しさとは？

イレ以外はほとんど動かず、当然運動不足で下肢筋力の低下が始まり、身体の不活性化に陥ります。

認知症になると「これまでできていた事が何もできなくなる」のではなく、適切なサポートや環境の工夫次第で、できることはたくさんあるのです。一人で調理は難しくても、野菜を切る・炒める・お皿に取り分ける、など行程別の作業なら十分できます。

洗い終わった食器をふく・衣類をたたむ・床にモップをかけることなどは認知症の人が得意な作業です。グループホームの利用者さまは、得意なことや好きな家事をスタッフと共に行い、役割を果たし生き生きと暮らされています。

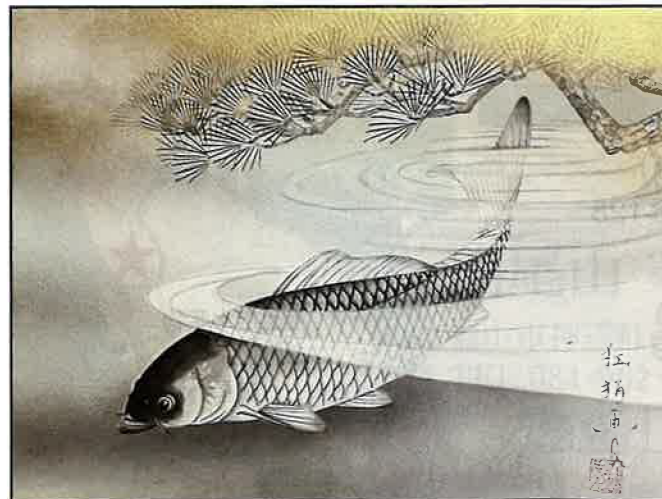
しかし、典型的な亭主関白の人は家事経験はゼロ。食卓に黙って座れば食事は出てくるもので、後片付けもしません。洗濯機を扱うどころか、衣類を干す・取り込む・たたむ・しまうなどの作業は気に留めることもなく、丸めて脱いだ衣類はいつの間にかタンスに入っているとの認識です。

◆何もすることがない？

ごみ捨てや掃除の経験もなく、家においても何もすることがないの

です。唯一の自発的な家事？といえは庭の手入れですが、これも地道に草を抜いたり、はさみで枝を切るよりは、面白そうな機械を買っては試すスタイル。認知機能が低下した今では、これらの道具類は使えなくなり、軒下のガーデニンググッズは出番を待ったままです。

つづく



藤井正勝 絵画展

(展示販売)

11月4日(土)～12月27日(水)
水墨画、墨彩画、日本画、ミクストメディア等を手掛ける。福山市を中心に、個展やグループ展に参加して活動中。



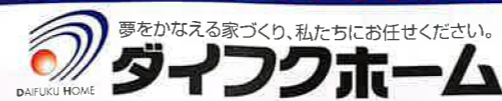
福山市引野町5-33-17
☎084-941-0865
営業 9:00～17:00 Pあり
L.O.16:30
休 木曜・第1金曜



中古住宅・空家 責任を持って買取ります!

早く現金化 秘密厳守 買主につき仲介手数料不要!

査定無料 ☎084-921-3232 [本社]
☎084-966-3320 [神辺営業所]



夢をかなえる家づくり、私たちにお任せください。
●宅地建物取引業許可/広島県知事免許(14)第1792号
●宅建協会福山支部不動産流通センター会員
大福ホーム株式会社
■本社 社/福山市霞町3丁目3番1号
■神辺営業所/福山市神辺町十九軒屋119番地1



- 借家として家賃運用したい
- 財産分与で早く現金化したい
- 住み替えの為、売却したい
- 住宅ローンを無くしたい
- 相続したが維持が困難